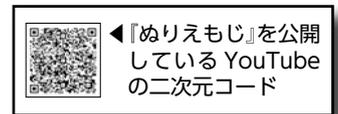




塗り絵を活用した習字方法

『ぬりえもじ』を考案

むらまつ あゆみ
村松 歩実 さん



◀『ぬりえもじ』を公開している YouTube の二次元コード



PROFILE

むらまつ あゆみ (新野南)
墨絵の個展やデザイナー活動の傍ら、定期的に書道教室やキャンドル教室を開いている。

新構想の習字方法『ぬりえもじ』

書道家として個展や児童向けの書道教室を開いている村松歩実さんがこのほど、塗り絵を用いた文字練習用ドリル『ぬりえもじ』を考案した。これは、ひらがなの字画の外側を線で結び、現れた図形をさまざまな色で塗ることで、目で空間を把握できるようにするというものだ。

『ぬりえもじ』考案のきっかけ

村松さんは4年前、児童に習字の指導をしていたとき、「文字を構成する空間の見え方が自分と違うこと」に気付いたという。そこで、文字の「捉え方」と「書き方」を児童にわかりやすく説明してあげたいと考えた村松さんは、試行錯誤の末にリラククス効果などが改めて注目されている「塗り絵」の活用を思いつく。

村松さんは、「ぬりえもじ」は、子どもたちが美しい文字を書くことができるようになるきっかけ作りとして考案しました。現代はデジタル化が進み、文字を書く機会が減ってきています。いまの子どもたちが大人になる頃、それは

より顕著になっていくことでしょう。だからこそ、次世代を担う存在である子どもたちに、文字を書くことは楽しいことなんだと伝えたいんです」と思いを語る。

習字で楽しくステイホーム！

村松さんは現在、児童が『ぬりえもじ』で練習する様子を動画投稿サイト『YouTube』に投稿している。

動画で使用する練習用紙は村松さんが自ら作成したもので、動画説明欄にあるURLから無料でダウンロードできる。また、これを印刷することでいつでも習字の練習ができるようになるという。この取り組みについて村松さんは、「現在、コロナ禍で子どもたちが家にいる時間が増えていきます。そうなる『勉強はしたくない』でもYouTubeは見たい」という子どもと「勉強してほしい」と願う親御さんの想いが食い違ふところがあると思います。そこで、子どもと親御さんの願いを同時に叶えられる方法を考えました」と笑顔で話す。

みなさんも一度利用してみたいかがだろうか。